



学校関係。
出来事のご報告。

教育委員会から

Education

Notice
2018. 4

家庭教育だより

曾於（地域）ぐるみの家庭教育支援

by 教育委員会 社会教育課 ☎ 099-482-5958

家庭で子育て 地域で見守り

あなたの子育て（家庭教育）が、子どもの未来をつくります！

子育ての出発点は家庭教育です。親が、家庭生活を通して、子どもとの信頼関係を築き、各年齢にふさわしい発達を育むことで、子どもが一人前の社会人として育っていきます。「早寝早起き朝ごはん」をはじめとした規則正しい生活習慣、自尊心や自立心、社会性などを身につけさせていくことが大切です。

また、子どもは地域の宝であり、地域社会でも「深く豊かな人間性」を実現する見守り活動が実施されるよう、市民がお互いに協力し、努力していきましょう。

曾於市教育委員会では「地域ぐるみの家庭教育支援」を推進し、社会教育委員の会議でも協議を重ね、子どもの心身の発達や家庭教育に関する学習機会を提供しています。（家庭教育学級、講演会等）

家庭教育学級とは…市内小・中学校、全ての学校と保育園・幼稚園・子ども園・幼児学園の5園（平成29年度）で、家庭教育の意義や発達段階に応じた適切な躾や教育についての学習、保護者同士の交流を目的に活動を行っています。保護者の皆さん、参加して子育てについて考え、学んでいきましょう。

「家庭の教育力向上」のために「守ります！9時オフ」の取組！

近年、携帯電話やインターネット等の普及により、青少年の犯罪被害が多発しています。メディアとのつきあい方は、家庭内で話し合ってルールづくりをし、インターネットの危険から子どもを守る環境づくりに取り組むことが大切です。

わが子と考えたいスマホルール（例）

- ▶ 具体的に使用時間を〇時までと決める。（部屋で遅くまで→睡眠障害や脳への影響が大）
- ▶ アプリを勝手にダウンロードしない。（有料サイト→不当な高額課金等）
- ▶ 学校へ持って行かない。

トラブル事例

- ▶ スマホの過度な使用による日常生活への支障
- ▶ なりすまし投稿による誹謗中傷
- ▶ 無料通話アプリなどでの悪口や仲間外れ

曾於市および市PTA連絡協議会では、大隅地域PTA連絡会（9市町）の提言を受け、子どもを取り巻くケータイ・スマホ・ゲーム機等の電子機器のトラブルから子どもたちを守るために、「守ります！9時オフ」運動に取り組んでいます。まずは家庭でのルールづくりが重要です。家族でメディアマナーについて話し合しましょう。



子育ての不安や悩みは抱え込まずに、誰かに相談しましょう。（□県・○市の主な相談機関）

□ かごしま教育ホットライン24
☎ 0120-783-574・099-294-2200

□ 子ども家庭110番
☎ 099-275-4152

○ 曾於市ふれあい教室
☎ 0986-76-5588

□ 県警本部少年サポートセンター
☎ 099-252-7867（ヤングテレホ）

□ 県PTAすくすくライン
☎ 099-251-0309

○ 市教委社会教育課
☎ 099-482-5958

□ 鹿児島いのちの電話
☎ 099-250-7000

○ 市教委学校教育課
☎ 099-482-5957



「母に似てるね。」と言われると「やだな。」とは言うけれど
心の中では うれしくて いつか私も 母みたいに 強く優しい人になりたい
平成29年度鹿児島県PTA連合会「楽しい子育てコンクール」 中学生の部 最優秀賞作品

第54回 全国児童才能開発コンテスト 最高賞受賞

岩川小学校の山口映輝さん（受賞時は4年生）が、「第54回全国児童才能開発コンテスト」で全国約7千点の中から最高賞の文部科学大臣賞を受賞しました。

このコンテストは、公益財団法人才能開発教育財団が昭和38年にはじめ、全国児童の「豊かな感性・情操」基礎学力である「文章による表現、コミュニケーション能力」「創造的な表現力」「科学的な思考力」を育て、小学生の文化的・科学的才能の育成を目指すことをねらいに開催しているものです。

作文のタイトルは『1万円やりくり生活』。夏休みに家計を任せられ、苦勞しながらやりくりする映輝さんの気持ち伝わる内容となっています。

映輝さんは「今回の受賞はともうれしいです。これからは買って買ってと言わず、1万円生活で学んだことを生かしていきたい」と話しました。母親の美緒さんは「1万円生活を通して映輝の優しい部分が見えてきた。賞をいただいて本人も自覚が出てきたと思います」と喜びを述べました。



岩川小学校の山口映輝さんと母親の美緒さん

「一万円やりくり生活」

岩川小学校 山口 映輝

「じゃあ、これで十日間よろしくね。」と母が一万円入りのさいふをわたしてきた。

「いやだなあ。やりたくないのに。」

ぼくが、いままであまりにも買って買ってと母をこまらせていたらしい。それで、こうなりました。

一日目、最初から地ごくのようなしはらい。

「今夜はやき肉に行く約束してたからね。」

「えっ。いくららはらうの。」

「子どもが千五百円ずつ、大人三千円だよ。」

「これは、交さいひといいって、必要なしはらいだからね。」と母が言った。

「今夜六千円も使ったら、どうなるんだらう。」

と、やき肉の楽しみはなくなり、不安だけだった。残りの四千元でどう九日間すごしたらいいか一生けん命考えた。車の中でも、テレビを見ている時も、布団に入ってもずっとずっと考えていた。ノートに計画表を書いた。

一日約四百円。そうだ。おじいちゃんを作っている野菜をもらいに行こう。飲み物は自分で作ろう。残金四千元。

二日目。はじめて食料を買いに行った。ご飯がないと聞いたので、めんにすることにした。母が、

「おすしが食べたいな。」

と言ってきた。ぼくは、

「ぜいたくすぎるから、がまんしてください。」

とおねがいした。一番安いのはうどん。冷やしうどんのつゆは二百六十八円。高い。どうしようとなやんでいると、

「あたたかいつゆなら作ってあげられるけど、今日は暑いから、つめたいつゆがいいかな。」と母が言った。ぼくは、

「クーラーで冷えた部屋で食べたら大じょうぶだから、あたたかいうどんを作ってください。」

とおねがいして、つゆは母に作ってもらうことにした。母がほかの食べ物もほしいと言う。ぼくはことわった。レジへ行く。

千円札を出したが、はらいたくなくて、なみだが出そうだった。わらって必死にがまんした。残金三千六百九十一円。

三日目。今年もカブトムシ大会に出かけた。でも、今年は気分がちがう。カブトムシ一びき二百円。そして、毎年ここでかき氷を食べる。かき氷三百円。

「かき氷は買えないな。でも、咲桜は食べたいって言うよね。咲桜の分だけ買ってあげようかな。」

と、ぼくが言っていると、母が、「えいき、やさしいね。でも、もし買えないときは、今日は買えないって、咲桜にがまんさせるのも大事なことから、えいきが考えて咲桜に話をしなさいね。」

と言った。

会場に着くと、カブトムシは売り切れていた。かき氷は妹の分だけ買った。そうしている、と、親せきのおじさんがぼくの方を買ってくれた。すぐうれしかった。

この日は食料を少し買った。

残金三千三百十五円。

四日目。この日おじいちゃんの家野菜をもらいに行った。しはらいなし。残金三千三百十五円。

五日目。またもやしを買った。後はできるだけ安い物を選んだ。賞味期限が近い物は割引されて安くなると母に聞き、割引の赤いシールを探した。残金三千一百円。

六日目。買い物時、妹の咲桜がおべん当にデザートがほしいと言ってきた。なやんだけど、ぼくもほしかったので、たくさん入っている九十八円の安いゼリーを買うことにした。残金二千九十六円。

七日目。今日は、家にあるものですませた。やった。しはらいなし。残金二千九十六円。

八日目。後少し。それなのに、車に乗ると、ガソリンマークが残り一こになっていた。

「ガソリンいれたいんだけど。」

「えーっ。もうお金ないのに。」

「でも、車が使えなかったら、

えいきや咲桜を学童に送って行くことも、遊びに連れて行くことも、お母さんが仕事に行くこともできなくなるんだよ。」

「そうか。じゃあ、千円だけでもいいかな。」

「うん。ありがとう。いつも車に乗っているときはガソリンのことなんて気づかないでしょう。遊びに行くのも、行った先ではらうお金だけじゃなくて、こうしてガソリンを使っているんだよ。分かる。」

母が教えてくれた。ぼくは、そんなこと考えたこともなくて、本当にその通りだと思った。

夜ご飯はれいぞうこのざいりょうとおじいちゃんからもらった野菜があるおかげで買い物をせずにすんだ。残金千九十六円。

九日目。部屋のかたづけをしていた母が、少し小さくなったふくを持って、

「これすてていい。」

と聞いてきた。小さいけどすてるのはもったいないと思った。

「もう少しとっておいて。」

と母にたのんだ。

「おっ。えいきの考え方がかわってきたね。一万円生活する前だったらなんて答えていたかな。」

と母がわらっていた。前はきつと、いいよって答えていただろう。

じいちゃんが夜ご飯にさそってくれた。残金千九十六円。

いよいよ最終日。冷ぞうこには材料がない。ぼくにはお金がない。少しだけパンを買った。でも全部は使わない。おじいちゃんの家野菜をもらいに行った。残金六百三十七円。

ぼくは、この十日間でやりくりの大変さとお金の大切さを知った。やりくりする母の気持ちや周りの人たちにたすけられていることにも気づいた。こうしてぼくの十日間一万円やりくり生活がやっと終わった。

